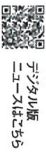


三重

東海



デジタル版はこちら
三重県版はこち

津総局
〒514-0082
津市中央9-2
TEL 059-228-4141
FAX 059-224-4817
mte.jp/asahi.com
県内取材組
四日市支局 / 伊勢支局 / 伊賀支局

購読・配達のご利用は
0120-33-0837(7~21時)
紙面のご質問のご意見は
0570-067-7616
広告のご利用は
059-951-1711

きょうの天気

6-12時	晴れ時々曇り	12-18時	曇り
20	四日市	20	津
20	伊賀上野	20	鳥羽
20	津	20	鳥羽
40	鳥羽	20	鳥羽

最高最低
津 13度 3度
四日市 11度 3度
伊賀上野 13度 3度
鳥羽 12度 3度

北西 波 0.5m
北西 波 1.0m

津 西 40%
鳥羽 西 40%

2月4日(日)
2月7日(水)
2月17日(日)

日出 6:50
日没 17:26
2月 10.02
月 28.53

「森から学ぶ魅力」語る 津でシンポジウム

「子どもといっしょに森と出会い、森から学ぶ魅力」をメインテーマにした第3回みえ森林教育シンポジウムが1日、県総合文化センターであった。トークセッションでは、子どもたちが森で学ぶ実例を林業家や教育関係者が紹介した。

パネリストは、松阪市の林業家堀内楓子さん、子どもが主体となつて考える学びを研究する津市立家城小教頭の大西義孝さん、菟野町の「森の風」こども園副園長の嘉成永穂さん、山梨県都留市のネイチャーセンター博物館学芸員の佐藤洋さんの4人。

大西さんは、5年生の社会科学・探検の学習で、子どもたちが自主的にアポイントを取ってみえ森林・林業アカデミーを訪れた実例を紹介。森林教育が主体的に学ぶこと



トークセッションで、森林教育の実例について話すパネリスト＝県総合文化センター

について話した。トークセッションで、森林教育の実例について話すパネリスト＝県総合文化センター



1時間半がかりで開かれたタイムカプセル(写真)と中身を確認する関係者＝伊賀市柘植

合併前の旧伊賀町 悪戦苦闘 1時間半の末

「1時間半がかりで開かれたタイムカプセル(写真)と中身を確認する関係者＝伊賀市柘植」

タイムカプセル 24年ぶりに開封

「『貸してあげる』を使って」と地元の人挑戦する。挑戦しながら成長していく様子、保育所型認定こども園「森の風」こども園(菟野町)の嘉成頼子園長(左)が成長していく様子、子どもたちが遊ぶ様子

森と共に子どもたちは育つ

森や原っぱを駆け回って遊んだ「仕事をしりながら、ちよつだけ限界を超えようとする挑戦をして自分だけのセリブレイクを広げていく。子どもたちが成長していく様子、保育所型認定こども園「森の風」こども園(菟野町)の嘉成頼子園長(左)が成長していく様子、子どもたちが遊ぶ様子



嘉成頼子園長

自分の限界 ちよつとずつ超え

「原っぱを駆け回って遊んだ」「仕事をしりながら、ちよつだけ限界を超えようとする挑戦をして自分だけのセリブレイクを広げていく。子どもたちが成長していく様子、保育所型認定こども園「森の風」こども園(菟野町)の嘉成頼子園長(左)が成長していく様子、子どもたちが遊ぶ様子



森の風こども園 2007年に認可外保育施設「森の風」ちえん」として、菟野町千草に嘉成さんが創設。21年4月から保育所型認定こども園に。0～5歳の子どもが保育部と幼稚園部で生活する。

菟野のこども園